



聖書
テーマ
暗唱聖句

イザヤ 40・21～26

創造者なる神

あなたがたは目を高く上げて、
だれがこれらを創造したかを見よ。
イザヤ 40・26

目標

神が万物の創造者であることを
覚えて生きる。

7月2日（日）

聖書
聖句

イザヤ 40・26

あなたがたは目を高く上げて、
だれがこれらを創造したかを見よ。

26節

科学では、世界やそこに起きることが「どの
ようにしてできたか」を観察したり、記録した
り、計算することはできるけど「だれが？」と
いうことは考えないよね。

聖書では、地球にあるすべてのものから、「だ
れが」造ったか見てごらん！ と言っているよ。
人が作った便利なものにも、作られた意味や
目的や作った人があるように、この宇宙や地球、
生き物やわたしたちのことを造られた方がい
て、目的や意味がある！ この世界のこと、聖書
からもたくさん知りたいね！

いの
祈り

天のお父様、聖書から、あなたが造られ
た世界を見ることが出来ますように。

7月3日（月）

聖書
聖句

イザヤ 40・21

悟っていなかったのか。地の基の
ことを。 21節

わかっているはずなのに、いろいろと理由を
つけてはみとめない、まるで自分で作ったもの
や考えたことが一番だと思う、これが人間。

宇宙やたくさんの星を造り、大きな大きな
世界にわたしたちを置いてくださった神様の
わざを、「科学」や、「人間が作り出した神」に
おきかえてしまっているんだね。

心の中から「自分が一番」と思う気持ちや
「ガンコ」な気持ちをおいだせば、神様のこと、
もっとよくわかるようになるんじゃないか
な？

あなたはどうですか？

いの
祈り

天のお父様、かたくなにならないで、心
をひらいて、あなたのことを知ることが
出来ますように。

7月4日（火）

聖書
聖句

イザヤ 40・22

主は、地をおおう天蓋の上に住む方。
地の住民はバッタのようだ。 22節

ここにある「地」は、もともと「地の丸み」
とか「円」という言葉なんだって。地球が平た
いものだと信じられていたところが昔あって、
この聖書の言葉を見たコロンブスは「地球は丸
い」と言ったとか！ そしてほんとに丸かつ
た！

「天を薄絹のように延べ広げ」というのもお
もしろいね。宇宙はすごい速さで大きくひろ
がってるの、知ってる？

聖書っておもしろくて、ふしぎで、だれも知
らなかったときから、正しいことを教えてくれ
る教科書のようなだね！

いの
祈り

天のお父様、聖書は地球のことも正しく
記されたものだとなりました。

7月5日（水）



イザヤ 40・22

主は、地をおおう天蓋の上に住む方。
地の住民はバッタのようだ。 22節

宇宙のこと、考えたことある？

たとえば太陽から地球までは1億5000万km
あって、時速100kmで1日24時間×171年かけて
やっと到着する距離！宇宙っておそろしく
大きいね！

ある人は、この宇宙が「神様」だと思うみたい。
神様の目から見たら、ちっぽけなわたしたちが
考える神様もまた、ちっぽけなものだな
あとと思いませんか？

神様の手におさまらないものはない。神様は
人の想像をはるかにこえたお方です！

いの

祈り 天のお父様、あなたは、わたしたちが
想像できるすべてのものよりも、もっと
大きなお方です。

7月6日（木）



イザヤ 40・23～24

君主たちを無に帰し、／地をさばく
者たちを空しいものとされる。

23節

「この人にさからったらこわい」って思う人
はいますか？ ある人には、お父さんやお母さん、
ある人には会社のえらい人、ある人にはお
まわりさん、ある人には王様かもしれません。
人は自分より力がある人、自分におそろし
いことをするかもしれない人をこわいと思っ
てしまうんだね。

でも、どんな人でもどんな力も、神様の前に
はちっぽけなもの。神様を信じる人、神様にし
たがって生きる人には、この神様がついておら
れるのだから、もうなにもこわくないよね！

いの

祈り 天のお父様、あなたがついていてくださ
るので、こわくありません。あなたにし
たがって生きます。

7月7日（金）



イザヤ 40・25

あなたがたは、／わたしをだれにな
ぞらえ、／だれと比べようとするの
か 25節

だれもが心のどこかで、自分に幸せをくれ
る、救ってくれる神様を探しているんだろうな。
そのしょうこに、昔から、どの国の人たちも
大きな像や建物を建てたり、木や金で神様の
形を作ってみたり、神様と交信しようとした
り、パワースポットに行ったりするもんね。

でも、人を造った神様は、人の目に見えるも
のでもないし、自分から出かけていかないと会
えないとか、形にしないといけないお方では
ないよね。この世界のどんなものも、神様とく
らべることはできないよね！

いの

祈り 天のお父様、この世界であなたとくらべ
られるものはなにもありません！

7月8日（土）



イザヤ 40・26

この方はその万象を数えて呼び出
し、／一つ一つ、その名をもって呼ば
れる。 26節

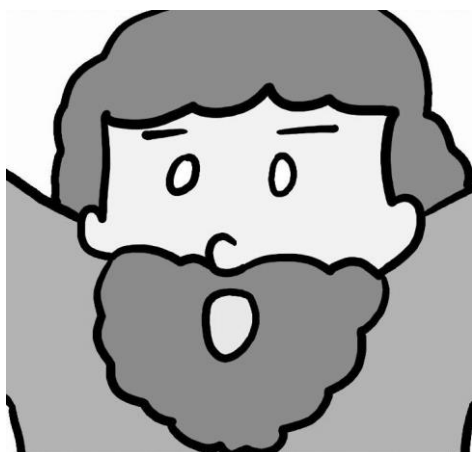
あなたには、尊敬している人っていますか？
その人がりっぱであればあるほど、なんだか
自分とはとおいような気持ちになるよね。

でもね、神様はとおい存在ではないんだって。
この世界のたくさんの星たちや生き物、わた
したちを造られた神様は、ひとつひとつ、一人ひ
とを知り、愛し、名前を知っておられるんだ
ね！そして、今日も、これからも、すべてを
知っていてくださる神様の愛とお守りの中で
生きていけるなんて、すごいことだね！

神様、ありがとう！

いの

祈り 天のお父様、小さなわたしのことも知っ
ていて、愛し、守っていてくださるこ
とをありがとうございます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

イザヤ 6・1～7

聖なる神

聖なる、聖なる、聖なる、万軍の【主】。／その栄光は全地に満ちる。

イザヤ 6・3

神が聖なるお方であることを覚えて生きる。

目標

7月9日（日）

聖書
聖句

イザヤ 6・3

聖なる、聖なる、聖なる、万軍の【主】。その栄光は全地に満ちる。 3節

天使が神様を賛美するとき「聖なる」だけじゃたりず、「聖なる、聖なる」でもまだたりず、「聖なる、聖なる、聖なる」というしかないくらい、神様はきよい、聖なるお方なんだね。

わたしたちが知っている「きよい」のイメージはどうだろう？「顔がキレイ」「心がきれい」「きれいな景色」くらいしか思いつかないね。

そう、わたしたちが知っているきよさは目に見えるか、思いつくものでしか考えられないけれど、神様はことばでは表せない、どこまでも「聖い」お方なんだね！

祈り

天のお父様、あなたは想像をはるかにこえた「聖い」お方であることを知りました。

7月10日（月）

聖書
聖句

イザヤ 6・1

私は、高く上げられた御座に着いておられる主を見た。その裾は神殿に満ち、 1節

ウジヤという、たよれる、りっぱな王様につかえていたイザヤは、主様がなくなったときにこの経験をしました。

神様を知っていたつもり、したがっていたつもりでも、じつは「そこに神様がおられること」を体験したことがなかった…それはイザヤだけじゃなくて、わたしたちもだよな？

自分がいちばんたよりにしていた何かがなくなったとき、ほんとうにいちばんたよりにすべきお方を見ることが出来るチャンスだ、とこのお話は教えてくれているよ。

祈り

天のお父様、あなたがここにおられることを、わたしにも体験させてください。

7月11日（火）

聖書
聖句

イザヤ 6・2

セラフィムがその上の方に立っていた。 2節

六つの翼がある天使たちの名前はセラフィム。それを見ただけでもなにかとんでもないものを見てしまった！と思うだろうね。

けどどうだろう。そんな天使たちも顔をかくし、足をかくし、「神様のまえでは、わたしたちはちっぽけなものです」と言っているかのようだね！

そんな神様のことを、べつ次元の、とおくはなれた知らない人のようにではなく、「天のお父様」と呼び、おいのりができるなんて、すごいことじゃない！？

祈り

天のお父様、あなたは天使もおそれるほどのお方なのに、こうして天のお父様と呼べることを感謝します。

7月12日（水）

聖書
聖句

イザヤ6・4

その叫ぶ者の声のために敷居の基
は揺らぎ、宮は煙で満たされた。
4節

自分の考え方や生き方がまったく変わって
しまうことに会ったとき「人生がひっくり
返った」とか「考えをゆり動かされた」って
いうことがあるんだ。あなたはまだ若くて、そ
んな地震にでもあうようなできごととは思いつ
かないかもしれないね。

でもね、神様に会えること、神様がどんなお
方で、わたしたちになにをしてくださったかを
知るなら…それがあなたにとって心からのも
のであればあるほど、あなたの人生はゆり動か
され、ひっくりかえるんだよ！

いの
祈り

天のお父様、小さなわたしの考えや生
き方を、あなたはひっくり返してくださ
るお方です。

7月13日（木）

聖書
聖句

イザヤ6・5

ああ、私は滅んでしまう。 5節

神様に会えるまで知らなかったこと。それは
自分の心が罪で真っ黒だったということ、
罪があるままでは神様によろこばれないこと。

イザヤは神様の「聖さ」を見たとき、今まで
人やまわりばかりを責めていたこと、自分の国
だけ救われればいいと思っていたこと…自分
だけは正しいと思っていたけど、なんておろか
で、どうしようもない、けがれた者だろうと気
づかされたんだ。

神様の前に出る、ということは、自分の罪の
大きさを知ることなんだね。

これはとてもたいせつなことなんだよ。

いの
祈り

天のお父様、わたしもあなたの前にでる
なら、自分が正しくきよいとは言えない
ものです。

7月14日（金）

聖書
聖句

イザヤ6・6～7

見よ。これがあなたの唇に触れた
ので、／あなたの咎は取り除かれ、
あなたの罪も赦された。 7節

神様がどこまでも「聖い」ということは、罪
の世界を100パーセントうけ入れないとい
うことです。だけど、神様は「まったく聖い」
と同時に「まったく愛」のお方です。

それは「あなたは罪でけがれているから、わ
たしにふさわしくない」「滅びればいい」と、
わたしたちに罪があるままほったらかしにし
ない、ということです。

「わたしは罪人です」とみとめて神様の前に
出るとき、人を愛してやまない神様は、その罪
を完全にとりのぞくことのできるお方です。

いの
祈り

天のお父様、わたしの罪を完全にとりの
ぞいて、きよくしてください。

7月15日（土）

聖書
聖句

イザヤ6・6～7

見よ。これがあなたの唇に触れた
ので、／あなたの咎は取り除かれ、
あなたの罪も赦された。 7節

神様を信じている人ならきっと、イザヤと同
じようなふしぎな体験をしたい！と思うよ
ね！でも、あなたにもすでに、このふしぎな
体験は起きたのを知っていますか？

イザヤは、天使が運んだ祭壇の炭火を口にふ
れて罪が赦されたけれど、わたしたちは、イエ
ス様の十字架の死がわたしのためだった！と
うけ入れたときに、罪が赦されたんだね。

天使よりもすばらしい、神様のひとり子イエ
ス様がこれをしてくださったんだもの！

罪は完全に赦された、信じますか？

いの
祈り

天のお父様、イエス様によって完全に罪
が赦されたと信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I ヨハネ 4・7~11

愛なる神
神は愛だからです。

I ヨハネ 4・8

目標

十字架に示された神の愛を見え、
神を愛し、人を愛して生きる。

7月16日(日)

聖書
聖句

I ヨハネ 4・7

私たちは互いに愛し合ひましょう。
愛は、神から出ているのです。 7節

「愛し合ひましょう」と書いたのは、十二使徒のひとり、ヨハネ。彼は「愛の使徒」とよばれるくらい、愛でいっぱいの人でした。でも、はじめから愛のある人だったわけではないんです。もともとは、おこりんぼうだったようです。でも、神様の大きな愛を知って、愛の人に変わられたんです。

家族への愛、お友だちへの愛、いろんな愛があると思うけど、そもそも愛は神様からでたもの。あなたを変えてくださるほどの神様の愛、本当の愛をしっかりとめてください。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの大きな愛を、わたしに教えてください。わたしを愛の人に変わってください。

7月17日(月)

聖書
聖句

I ヨハネ 4・8

愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。 8節

「愛のない者は神を知りません」ですって！あなたには、きれいな人がいますか？ お友だちといっしょに、だれかの悪口を言ったりしていませんか。神様を信じているはずなのに、人をきらったり、悪口を言ってしまう。それは、ほんとうに神様のことを知っていないからなのです。だって、神様は愛だから。神様の愛は、どんな人も愛する愛。神様の愛をほんとうに知ったら、たとえ苦しい人があっても、その人を愛せますように、と祈るようになります。

ドキッとした、あなた。もっと神様の愛を知りたいですね。

いのちの祈り

天のお父様、あなたが愛であると知りました。あなたをもっと知って、愛することができる人になりたいです。

7月18日(火)

聖書
聖句

I ヨハネ 4・9

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって／私たちにいのちを得させてくださいました。 9節

ひとり子、というのは「ひとりっこ」という意味ではないんですよ。けっして、だれもかわりになることはできない、たったひとりの、大切な子。

父なる神様にとって、イエス様ほど大切な存在はありませんでした。これだけは、だれにもわたしたくないというくらい、いちばん大切なひとり子イエス様を、わたしたちのためにつかわしてくださったのです。神様が、どんなにあなたを愛しているか、伝わってきませんか。

いのちの祈り

天のお父様、あなたにとっていちばん大切なイエス様をつかわすほど、わたしを愛してくださり、本当に感謝します。

7月19日（水）

聖書
聖句

I ヨハネ 4・9

それによって／神の愛が私たちに示されたのです。 9節

いちばん大切なひとり子、イエス様さえおしまないで、わたしたちのためにつかわしてくださった神様。そのことによって、「神様は、ほんとうにわたしたちのことを愛してくださっているんだ！」ということがハッキリわかるでしょう！

ただ口だけで「愛していますよ」と言っても、それがほんとうかどうか、わからないですね。でも、神様は口だけじゃありません。愛をしつかり行動にうつして、愛がわかるようにしてくださったんです。ちゃんと行動にうつす愛が、わたしたちにもひつようですね。

いの祈り 天のお父様、あなたのように、口先だけでなく、愛をおこなう人にならせてください。

7月20日（木）

聖書
聖句

I ヨハネ 4・10

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、 10節

わたしたちは、神様からはなれて、神様にたいして罪をおかしてきた存在。罪をなかったことにはできず、永遠のほろびに行くしかないのです。でも、なんと神様のほうから「ゆるしてあげたい、救ってあげたい！」と、わたしたちに愛をしめしてくださったのです。

自分にたいして悪いことばかりする人に、「ゆるしてあげたい！」と思える？「あんな人ゆるさない！」と思うのが人間では？でも神様はちがう。罪だらけのわたしたちなのに、神様のほうから愛してくださったのです。

いの祈り 天のお父様、あなたにたいして罪をおかしたわたしを、あなたのほうから愛してくださいました。心から感謝します。

7月21日（金）

聖書
聖句

I ヨハネ 4・10

私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。 10節

わたしたちの罪がゆるされるためには、イエス様が罪のみがわりに十字架にかかるしか、方法はありませんでした。父なる神様にとって、なにより大切なイエス様を十字架につける。神様がどんなにつらく、くるしい思いをされたか、考えたことがありますか。神様は、胸が引きさかれるような思いをしながら、わたしたちが滅びないようにイエス様をつかわされたのです。

こんな大きな愛は、ほかにありません。ほんとうの愛を持っておられるのは、神様だけです。

いの祈り 天のお父様、あなたはどんなにつらくても、わたしの罪をゆるすためにイエス様をつかわされました。あなたの大きな愛に、感謝でいっぱいです。

7月22日（土）

聖書
聖句

I ヨハネ 4・7～11

神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。 11節

イエス様の十字架で示された神様の愛。これほどまでに、神様はわたしたちを愛してくださいました。わたしたちも心から神様を愛しましょう。そして、人をきらったり、悪口を言うのではなく、たがいに愛し合うようになること。これが神様のみこころ、神様のわたしたちへの願いです。だから、まず神様がわたしたちに愛を教えてくださいました。

クリスチャンの、いちばんの特徴はね、「神様と人を愛する」人だということ！神様と人を愛して生きていきたいですね！祈ろう！

いの祈り 天のお父様、十字架の愛を心にとめて、あなたと人々を愛していきたいです！



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記7・1～24

ノアの箱舟

あなたとあなたの全家は、箱舟に入りなさい。 創世記7・1

目標

箱舟なるキリストを信じ、その救いの中に入る者となる。

7月23日（日）

聖書
聖句

創世記7・1～24

あなたとあなたの全家は、箱舟に入りなさい。 1節

ノアが六百才の2月17日に起こった大洪水。想像できますか？日本に、2011年3月11日に起こった地震と津波！ここは大丈夫と思っていた高い所も津波に押し流されました。ノアの大洪水の時も人々は高い山にのがれましたが、地は全面、全く水におおわれてしまい、箱舟の外の生き物はすべて滅びてしまったのです。生き残ったのは、箱舟の中のノアたち、たった8人だけでした。今、私たちが入って救われる箱舟とは、「イエス様」です。信じて救われよう！

祈り

天のお父様、この世は罪と汚れの大洪水です。イエス様を信じて罪の中から救われます。救いの箱舟を感謝します。

7月24日（月）

聖書
聖句

創世記7・1～5

あなたとあなたの全家は、箱舟に入りなさい。 1節

今週の暗唱聖句です。もう覚え了吗？きょう注目したいのは、「あなたの家族」、特に、『家族』という言葉です。ノアの家族は、奥さんと、3人の息子たち、そしてそのお嫁さんたちで、合計8人家族でした。その8人だけが洪水から救われました。神様は、家族ぐるみ救おうとしておられるのです。あなたの家族は何人なのかな？みんなクリスチャンなら大感謝！まだの人がいたら、「救ってください」と神様にしっかりお祈りし続けましょう。

祈り

天のお父様、あなたは家族みんなの救いを願っていてくださり感謝します。私の家族も全員救われますように。

7月25日（火）

聖書
聖句

創世記7・1～5

ノアは、すべて【主】が彼に命じられたとおりにした。 5節

誰もが一つの口と二つの耳を与えられています。神様が、「よく聞くのですよ。聞くことが一番大切です」とおっしゃっておられるようですね。ノアはでっかい耳を二つ与えられていたのでしょうか？いいえ、耳の大きさではなく、神様の声がよく聞ける、心の耳がしっかり開かれていたのです。だから、よく聞こえて、そしてちゃんと言われたとおりにできたのです。これを従順、すなおに従う心と言います。すなおに従う心で聞いてこそ、はじめて聞いたことになります。

祈り

天のお父様、救いのためには、ノアのよく聞こえた心の耳と、すなおに従う心が大切だったことを知りました。

7月26日（水）

聖書
聖句

創世記7・1～5

また空の鳥の中からも雄と雌を七つがいずつ取りなさい。それらの種類が全地の面で生き残るためである。3節

「きよい動物の中から雄と雌を七つがいずつ」「空の鳥の中からも雄と雌を七つがいずつ」取るように、との神様の命令でした。ノアはすべて、神様が命じられるようにしたのでした！ 小さな犬や猫やうさぎやらをつかまえるのはいいけど、それでも逃げ回られると大変！ 大きな動物やこわそうな動物、それに空の鳥もつかまえるのですから、大変だったのかなアと思ってしまいます。きっと神様の助けがあったのでしょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのご命令が大変と思えても、あなたの方から助けてくださってできると信じます。

7月27日（木）

聖書
聖句

創世記7・6～12

七日たつと、大洪水の大水が地の上に生じた。10節

「あと七日たつと、わたしは、地の上に四十日四十夜、雨を降らせ、わたしが造ったすべての生けるものを大地の面から消し去る」（4）と、神様はノアに言われました。「あと七日しかない」とノアは心ひきしめる思いで聞いたことでしょう。なぜなら、神様が言われたことは、必ずその通りなるということを知っていたからです。ノアは人々に洪水のことを伝えたにちがいありません。でも人々は、ノアと家族のことをバカにして聞く耳をもたなかったのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの言われたとおり、七日後に洪水が起こり、四十日四十夜、雨でした。み言葉に聞き従います。

7月28日（金）

聖書
聖句

創世記7・13～16

それから、【主】は彼のうしろの戸を閉ざされた。16節

電車にすべり込み「セーフ！」で乗り込んで、うしろの戸がスーッとしまったなんて経験ありますか？ ひや汗ものでしょう。今は電車の戸も、自分で閉めるものはほとんどないでしょう。ノアの箱舟の入口の戸も、実は、ノアや家族の誰かが閉めたものではありませんでした。

「【主】は彼のうしろの戸を閉ざされた」とありますから、まちがいなく神様でした！ するともう絶対に外から入れません。救いの戸は閉ざされたのです。でも、「キリストの救いの戸」は、今も開いているから大丈夫！

いのちの祈り 天のお父様、今はまだイエス様による救いの戸はオープンなので感謝です。家族みんなが救われますように。

7月29日（土）

聖書
聖句

使徒16・25～34

主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。31節

このみ言葉の約束が、どんなに真実であるか、たくさん家族が声をそろえて、「アーメン」と言うにちがいありません。この場面は、パウロとシラスが足かせをかけられ牢獄に入れられて、最悪と思えるところです。しかし、ふたりは神に祈り、さんびを歌いつづけ、そこに神様による大地震が起こり、獄の戸があき、囚人の鎖がとけるといふ奇跡！ しかし、もっと大きな奇跡は、この看守とその家族が主イエスを信じ救われ、バプテスマを受けたことでした！

いのちの祈り 天のお父様、家族の救いのための素晴らしいお約束のみ言葉をありがとうございます。信じて祈っていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記12・1～9

アブラハムの旅立ち

あなたは、あなたの土地、／あなたの親族、あなたの父の家を離れて、／わたしが示す地へ行きなさい。

創世記12・1

目標

罪から離別し、神の導きに従って生きる者となる。

7月30日（日）

聖書
聖句

創世記12・1

あなたは、あなたの土地、／あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。 1節

新しいことを始めるときは、いつだって最初の一步をふみだす勇氣がいるよね！

そんなとき、だれかに助けてほしいし、力になってほしいんじゃない？

アブラハム（アブラム）は、その最初の一步を、お父さんでもお母さんでもなく、神様の声を聞いて信じ、「よし、行こう！」と決めた人なんだ。

だれよりも自分を知っていて、愛してくれる神様に従うんだから、まちがいないよね！

わたしたちも、神様に聞いて、信じて、最初の一步を歩き出そうよ！

祈り

天のお父様、ただあなただけに聞いて、人生を歩いて行けますように！

7月31日（月）

聖書
聖句

創世記12・2～3

地のすべての部族は、／あなたによって祝福される。 3節

この地球と、生きるすべてのものを造られたまことの神様の声を聞いて従ったアブラムに、神様は大きな祝福を約束されました。

地球にいるすべての部族は、アブラムによって祝福される、ということです。

考えてみれば、アブラムから始まって、四千年以上たった、ぜんぜんちがう国にいるあなたも、同じ神様を信じて祝福のバトンタッチがされてきているんだよ！すごいね！

そして、この祝福は、バトンを受けたわたしたち一人ひとりが、ほかの人にもあげられるものだって、知ってくださいね。

祈り

天のお父様、アブラムから流れてきた祝福を、わたしからほかの人へつないでいけますように。

8月1日（火）

聖書
聖句

創世記12・4

ハランを出たとき、アブラムは七十五歳であった。 4節

アブラムが神様を信じて旅立ったのはなんと七十五歳！「え～、おじいちゃんじゃん！」と思った人、いるんじゃない？

もし、自分に若さやお金や才能など、力も元氣もたくさんあったら、人は、自分の力でなんとかがんばろうとするよね？ ぎゃくに自分の力が弱くて頼りないって知っている人は、神様に頼りやすいんだよ。

だから、神様に従うのに「おそろすぎた」っていうことはないし、自分が弱いことを知ること、自分が神様によって変わる大きなチャンスなんだよね！

祈り

天のお父様、弱さを知ることはあなたに変えていただくチャンスだと信じます。

8月2日（水）

聖書
聖句

創世記12・5～6

アブラムは、妻のサライと甥のロト、・・・ハランで得た人たちを伴って、カナンの地に向かって出発した。こうして彼らはカナンの地に入った。
5節

右を向いても左を向いても、神様が悲しむ場所ばかりの世界。アブラムが出た国も行き着いた国も、やっぱり、まことの神様を信じない人達の場所でした。でもね、神様は、アブラムをひとりぼっちにはさせなかったし、必要なものは与えてくださってるでしょう？

罪の世界で、神様だけを信じて生きていくのは大変なことだけど、力を合わせて祈り、歩いてくれる人、あなたにもいるからね！

いの
祈り

天のお父様、いっしょに歩いてくれる信仰の仲間がわたしにもいることを感謝します。

8月3日（木）

聖書
聖句

創世記12・7

わたしは、あなたの子孫にこの地を与える。
7節

まことの神様を信じないし従わない、そんな人たちの中に自分が送られたら、オロオロして、どうしよう！ っとなっちゃうよね！？

アブラムもきっとそうだったと思う。でもそんなアブラムに神様は、「ここはあなたにプレゼントしたんだよ」って言ったんだ。

神様を信じ従う人を、神様はぜったい悪いようにはなさらず、どんな罪のある場所も祝福の場所に変えてくださるお約束だね！

あなたが行くすべての場所も、そういう「祝福の場所」になっていくように、祈っていこうね！

いの
祈り

天のお父様、どんな罪のある場所にもいくときも、あなたがいっしょにいて、そこを祝福の場所に変えてください。

8月4日（金）

聖書
聖句

創世記12・8

そこに【主】のための祭壇を築き、【主】の御名を呼び求めた。
8節

祭壇を築いたっていうのは、礼拝をする場所をつくったということ。そして主の名を呼んだっていうのは、神様に礼拝したっていうことわかりやすいかな？ しかも、だれもまことの神様を信じていない場所で、目に見えるように、行動で信仰を表しているんだ。

日本も神社やお寺が多い国だし、学校でも教会に行っているお友達は少ないと思う。それでも、行動で、目に見えるように、神様を信じていることをあなたなりに表していけるといいなと思います。アブラムがお手本だね。

いの
祈り

天のお父様、あなたを信じない人たちの中であっても、信仰を行動で表していけますように。

8月5日（土）

聖書
聖句

創世記12・9

アブラムはなおも進んで、ネゲブの方へと旅を続けた。
9節

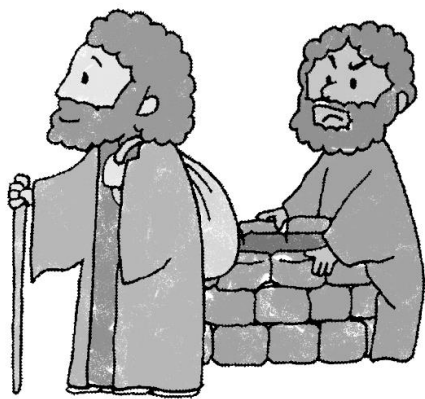
ネゲブはカナンの一番南にある場所だって。だから、アブラムはカナンの地域を北のほうから南のほうまで、まるで、神様のお約束を味わうように、自分の足で歩いてたしかめたっていうことだね。

神様があなたにすばらしい人生を用意してくれたとき、一步一步、どんなに大きな祝福だろう！ と期待しながら、そして、努力しながら、そのお約束にこたえていく。そんなことを教えてくれるように思います。

神様の大きな人生の祝福を、一步一步踏みしめて、受け取っていきましょうね！

いの
祈り

天のお父様、わたしも一步一步、祝福を味わいながら受け取ります！



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記26・12～22

イサクの井戸

柔和な者は幸いです。／その人たちは地を受け継ぐからです。

マタイ5・5

目標

神に信頼して、柔和な生き方を身につける。

8月6日（日）

聖書
聖句

マタイ5・5

柔和な者は幸いです。／その人たちは地を受け継ぐからです。 5節

あなたはプールの中で、水にふか～っと浮きたいとき、どんなふうになりますか？ きっと体の力をふう～っとぬいているんじゃないかな？ 浮かないかも！ とあばれたりしたらきっと浮かないだろうね～。

柔和ってというのは、ちょうどそんな感じ！

自分の力でジタバタしないで、神様の導かれる道がどんなふうであっても神様を信じ、神様におまかせするんだ。そのとき神様は、あなたをいちばん良いところに導いてくださるよ。

イサクの話から柔和のことを考えよう。

祈り

天のお父様、わたしをいちばん良いところに導かれるあなたを信じて、おまかせします。

8月7日（月）

聖書
聖句

創世記26・12～14

イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。 12節

イサクは、住んでいた場所に飢饉が起きたので、少しはなれたところに引っこしました。そこは自分で決めたのではなく、神様が「この地にとどまるなら、わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福する」と言われた場所でした。

その言葉に従うと、イサクは飢えずにすんだだけでなく、その年にたくさんの農作物、たくさんの家畜、たくさんのしもべを持つようになったのです。

これは神様に従ったら祝福されたという、いいお手本だね！

祈り

天のお父様、わたしもあなたに従ってたくさんの祝福をいただけますように。

8月8日（火）

聖書
聖句

創世記26・15

ペリシテ人は、イサクの父アブラハムの時代に父のしもべたちが掘った井戸を、すべてふさいで土で満たした。 15節

きのうのお話でめでたしめでたし！ と思いきや…。じつはその土地に住んでいたペリシテびとたちが、イサクのことをおもしろくない、とねたんだりひがんだり。

神様に従う生き方は、もちろん祝福されるんだけど、祝福の人生というのは「事件が起きない人生」ではないんだ。争いごとや、いやがらせに巻きこまれることだってあるし、自分の立場をうばわれそうになることも。

でも、だからと言って、信じることをなげださない！ それがたいせつなのです。

祈り

天のお父様、わたしも信じ続けます。

8月9日（水）

聖書
聖句

創世記26・16～17

イサクはそこを去り、ゲラルの谷間に天幕を張って、そこに住んだ。

17節

この時代、井戸というのは、その土地を持っているしょうこでした。また、水がない場所だったので、人々はとても井戸をたいせつにしていたのです。水がないと生きられないしね！

ふつう、自分のものをこわされたら怒るだろうし、直してよ！とか言うよね。でも、イサクはそうしなかったんだ。

イサクは「人々と争うこと」よりも「神様が祝福してくださる」という気持ちをえらんだね。神様の子どもとして、わたしたちも祝福されるほうを選びたいよね！

いの
祈り

天のお父様、なにが起きても、あなたの祝福を信じ、とるべき行動ができますように。

8月10日（木）

聖書
聖句

創世記26・18

イサクは、彼の父アブラハムの時代に掘られて、アブラハムの死後にペリシテ人がふさいだ井戸を掘り返した。

18節

イサクのお父さんアブラハムも昔、ここに井戸を掘っていたんだね。そこにもきつと、イサクが経験したような苦勞がたくさんあったんだろうな。お父さんはどうやってのりこえたかなあ？ そっか、きつとこうだったよね、なんて思い出したこともあったかもしれない。

あなたも、神様を信じて生きていくときに、色んな出来事があるだろうね。そんなときは、信仰の先輩たちがきつといいお手本になってくれるし、たくさん教えてくれると思うよ！

いの
祈り

天のお父様、信仰の先輩たちの姿から、学ぶことができますように。

8月11日（金）

聖書
聖句

創世記26・19～21

ゲラルの羊飼いたちは「この水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼いたちと争った。

20節

ゲラルの人たちはいじわるだなあ！ もうこうなると、水がどうのこうの、じゃなくて、イサクたちが憎いんだろうね！

井戸の名前「エセク」「シテナ」は「争い」「敵意」という意味があるんだって。それは人の罪や、悪魔のすがたとおなじで、神様と、神様を信じる人たちに向けられるものなんだ。

だったらよけいに、人をうらやましがったり、いじわるしたりする、昔の自分のようにではなく、そういう気持ちからはなれなきゃね！

神様からぜったい、はなれるもんか！

いの
祈り

天のお父様、悪魔に、あなたからひきはなされないよう、お守りください。

8月12日（土）

聖書
聖句

創世記26・22

今や、【主】は私たちに広い所を与えて、この地で私たちが増えるようにしてくださった。

22節

「神様ってすごい！ ありがとう！」という瞬間があなたにもあるんじゃないかな？

その喜びは、すんなりほしいものが手に入ったときよりも、お願いしてお願いで、苦勞して悩んで…をのりこえたときのほうがずっと大きいはず！

じつは、悩んだり苦しかったりする中で、神様を信じることや、神様がどんなお方か、なにがたいせつなのかなど、たくさんのかげがえのないことを学んでいるんだね！

柔和、ということも身についていくんだね！

いの
祈り

天のお父様、悩むときにも、たいせつなことを学ばせてくださり感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記28・10～22

天からのはしご

まことに【主】はこの場所におられる。それなのに、私はそれを知らなかった。創世記28・16
共におられる神に目を向けて生きる。

目標

8月13日（日）

聖書
聖句

創世記28・10～22

まことに【主】はこの場所におられる。それなのに、私はそれを知らなかった。 16節

「えーっ、こんな所に教会があったんだー」と、今まで何回もその道を通っていても見えていなかったということがあります。心の目が開いていなかったのですね。ヤコブもそうでした。「えーっ、ここに神様が共にいてくださったのに、わたしは知らなかった」と叫んだのでした。それは一番大切なお方、共にいてくださる神様に、心の目が向けられた最高に幸せな瞬間でした。今、この神様は、信じるわたしとも共にいてくださることを知っていますか？

いの祈り

天のお父様、肉眼では見えないあなたを、心の目を開いて、いつもしっかりみながら毎日歩いていけますように。

8月14日（月）

聖書
聖句

創世記28・10～11

彼はある場所にたどり着き、そこで一夜を明かすことにした。ちょうど日が沈んだからである。彼はその場所で石を取って枕にし、その場所が横になった。 11節

あなたも一人旅をしたことがありますか？まだないでしょうね。子どもだけで電車に乗ってという旅行はあるかな？このヤコブは全くひとりぼっち、しかも初めて家から出たのです。レンズ豆の時だけでなく、そのあとも一度、父と兄をだまして「祝福」を奪ってしまい、もう家にいられなくて旅に出ました。夜になり冷たい石をまくらにして、どんなに心細かったことでしょう。一つの所に着いた時、実はそこで神様がヤコブを待っていました！

いの祈り

天のお父様、ひとりがたったひとりでいる時、あなたが近づいてくださるとわかって、ひとりでいても恐くありません。

8月15日（火）

聖書
聖句

創世記28・12

すると彼は夢をみた。 12節

「きょうはどんな夢が見えるのかな」と毎晩、楽しみに寝る人もあるそうです。あなたもよく夢を見ますか？イエス様の夢だと最高ですね！でも、追いかける夢とか、怖い夢とかはいやですね。ヤコブはここで、神様の夢を見たのです！一つのはしごが地の上に立っています。そのてっぺんは天に達しています。そしてそのはしごを、神の使いたちが上ったり、下ったりしているではありませんか。夢を見させてくださるのも、実は神様なのでしょう。

いの祈り

天のお父様、眠っている時に夢を見るのも不思議です。あなたは夢によっても正しく導いてくださり感謝です。

8月16日（水）

聖書
聖句

創世記28・13～15

わたしは、あなたの父アブラハムの神、イサクの神、【主】である。13節

次の瞬間です！ 神様がヤコブのそばに立って言われます。「わたしは、あなたの父アブラハムの神、イサクの神、【主】である。あなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える」と。そして、子孫が地のチリのように多くなって、まわりの人たちはヤコブと子孫とによって祝福されること。何より、神様はヤコブと共にいて、ヤコブがどこに行くとしても、彼を守り、この地に連れ帰る、そして、決してヤコブを捨てず、語ったことを行うと言われます。

いの祈り 天のお父様、ヤコブのための何とすばらしい約束でしょう！ これはまたあなたを信じる私のためでもあります。

8月17日（木）

聖書
聖句

創世記28・16～17

この場所は、なんと恐れ多いところだろう。ここは神の家にほかならない。ここは天の門だ。17節

眠りからさめて、神様とお会いしていた夢からもさめて、ヤコブは思わず叫びました、「まことに【主】はこの場所におられる。それなのに、私はそれを知らなかった」。初めて家を離れ、なつかしい家族や、近所の人たちからも遠く離れて、たったひとりになっちゃって…と、とても淋しい悲しい思いをしていたヤコブには、大きな驚きであり、喜びだったのです。これは神の家（ベテル）だ、天の門だと心がひきしまる思いもしました。もうひとりではありません。

いの祈り 天のお父様、ヤコブは初めてハッキリとあなたを見て、生まれ変わりました。わたしも心からあなたを信じます。

8月18日（金）

聖書
聖句

創世記28・18～19

そしてその場所の名をベテルと呼んだ。19節

あなたにとっても「ここ！」という記念の場所がありますか？ もちろん、生まれた所はそうですね。ヤコブにとって、ここ、ベテル（神の家）と名づけた場所は、記念の場所となりました。初めて、神様とお出会いした忘れることのできない場所でした。つまり、新しく生まれ変わって、神様と共に歩きはじめた所です。身体が生まれた所以上に、魂が新しく生まれた所、罪を悔い改めて、ゆるされ神の子とされ、水のバプテスマを受ける所（母教会）は、もっと大きな記念の場所ですね！

いの祈り 天のお父様、わたしも本気であなたとお会いして、水のバプテスマを受けて、記念の場所ベテルをもちたいです。

8月19日（土）

聖書
聖句

創世記28・20～22

無事に父の家に帰らせてくださるなら、【主】は私の神となり、21節

ヤコブは誓いを立てて、神様にお祈りします。が、たくさんの条件付きのお祈りです。「神がわたしとともにいてくださるなら」「私の行くこの旅路を守ってくださるなら」「食べるパンと着る衣をくださるなら」「無事に父の家に帰らせてくださるなら」主をわたしの神といたしましうとね。そして、「私は、すべてあなたが私に下さる物の十分の一を必ずあなたに献げます」と誓いを立てました。押しのける者ヤコブの性質がのぞいています。

いの祈り 天のお父様、わたしの祈りも、もしかしたら条件付きのお祈りになっていましたら、おゆるしてください。改めます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記50・15～21

すべてを良きに変える神
神はそれを、良いことのための
計らいとしてくださいました。

創世記50・20

目標

すべてのことを益としてくださ
る神を信じて生きる。

8月20日（日）

聖書
聖句

創世記50・15

神はそれを、良いことのための計
らいとしてくださいました。 8節

神様がみんなにねがっていること、わかるか
な？ それは、神様がえらんだ人たちがどんど
ん増えひろがっていくこと！…ってことは、
せっかくえらばれた人が、それをじゃましたり、
「いやだ！ そんなの知らない！」なんて言っ
ていたら神様の計画が進まないってこと！

神様のえらんだ人が、家族をつくり、増え広
がるためになにをすればいいのか、ヨセフはよ
くわかっている人でした。

神様の心に自分の心を合わせたんだね。あ
なたはどうですか？

いの
祈り

天のお父様、あなたの心にわたしの心
もあわせられますように。

8月21日（月）

聖書
聖句

創世記50・15

ヨセフはわれわれを恨んで、われわ
れが彼に犯したすべての悪に対して、
仕返しをするかもしれない。 15節

人生で、ずっと心にのこる暗い気持ち。そ
れは自分のしてきた悪い行いやしっばいで、
だれかを傷つけてしまったことじゃないかな。

ヨセフのお兄さんたちも、ヨセフにした過去
の罪のために、ずっと苦しんでいたみたい。

はっきりと「赦された自覚」がないまま過ご
すということは、このお兄さんたちのように、
おそれや不安、うたがいを持ったまま過ごすこ
とになってしまう…それではなんなんだね！

あなたの心はどうですか？

いの
祈り

天のお父様、罪のためにだれかをおそれ
たり不安になることがないようにお守
りください。

8月22日（火）

聖書
聖句

創世記50・16～17

今、どうか、父の神のしもべたちの
背きを赦してください。 17節

とりかえしがつかないくらい悪いことをし
てしまったら、「ごめんなさい」と言うのさえ、
むずかしいことがあります。お兄さんたちも、
ヨセフに謝るのに、だれかが間に入ってくれ
ないと、怖くて気持ちを伝えられませんでした。

イエス様は、ちょうど、罪を怒って人をさば
く神様と、罪人の間に入ってくくださった方だ
ね。イエス様がいてくださるから「神様、ごめ
んなさい」と言うことができるし、イエス様が
身代りに十字架につかれたから、神様がもう
あなたに怒ることがなくなったんだね。

いの
祈り

天のお父様、人とあなたの間にイエス
様がいてくださることを感謝します。

8月23日（水）

聖書
聖句

創世記50・18

ご覧ください。私たちはあなたの
奴隷です。 18節

昔、ヨセフのお兄さんたちは、ヨセフばかりお父さんに愛されるのが憎くて、ヨセフを売ってしまったので、ヨセフはどれいとして何年もすごしたのです。

けれどもどうでしょう。自分たちのしてきたことが原因で、お兄さんたちはヨセフに「どれいにしてください」と言うしかないのでした。

自分の罪をみとめるだけでなく、罪の責任を負うというのは、とてもたいへんなことです。

だから、わたしたちにはイエス様の十字架があるんだね。イエス様、ありがとう！

いの
祈り

天のお父様、わたしに負いきれない、罪の責任をイエス様が負ってくださることを感謝します。

8月24日（木）

聖書
聖句

創世記50・19

恐れることはありません。どうして、私が神の代わりになることができるでしょうか。 19節

ヨセフは、今はどれいではなく、エジプトの大臣でした。お兄さんたちをどれいにするだけでなく、殺すこともかんたんに行える立場です。

でもどうでしょう。ヨセフはお兄さんたちを殺しもしないし、どれいにもしませんでした。

ヨセフは神様が、つらいとき、くるしいとき、共にいて、人生を導かれるお方だと知っていました。神様だけが、人のいのちを動かすことのできるお方だと、経験していたのです。

神様にすべてのことをおまかせできる人生ってすばらしいね。

いの
祈り

天のお父様、わたしの人生も、あなたに全部おまかせします。

8月25日（金）

聖書
聖句

創世記50・20

神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。 20節

人生にはときどき「いやだなあ」と思うこと、神様がわざと、あなたを苦しめようとしているように感じることもあるかもしれません。

でも、そうではありません。人生で、いろんなまちがいやしっばいや事故があるのは、たいていはわたしたちの責任です。

神様は、そういう人の弱さがあっても、かならず「良いことのための計らい」とされる方です。あれがあったから、今の自分があるんだ、と思わせてくださるお方だよ！

いの
祈り

天のお父様、すべて良いことの計らいとしてくださるあなたに信頼します。これからも共にいてください。

8月26日（土）

聖書
聖句

創世記50・21

ヨセフは彼らを安心させ、優しく語りかけた。 21節

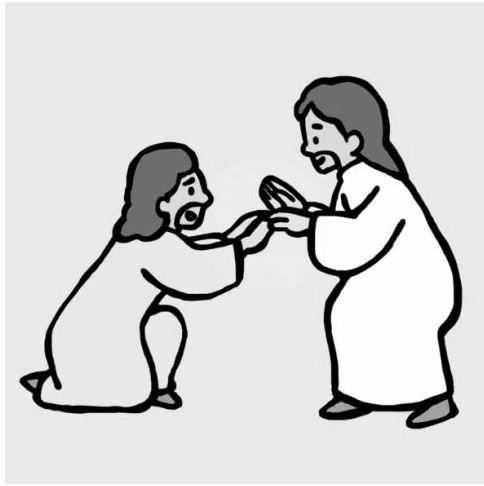
ヨセフは、お兄さんたちを赦しただけでなく、丸ごと受け入れて養うとまで言いました。お兄さんたちはどれほど嬉しかったでしょうね。

「赦される」ことは心を自由にして立ち上がらせる力があります。それが本当の慰めです。

神様の赦しも、わたしたちの心を自由にし、喜びで満たす力があるよね。「神様ありがとう、本当にありがとう」と感謝して生きるとき、わたしたちもまた、ちょうどヨセフがだれかをゆるし、受け入れ、慰めたような生き方ができるようになるんだろうね！いや、なろうよ！

いの
祈り

天のお父様、ゆるされ、受け入れられた者として、人に慰めをあたえる生き方ができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 9・1～8

罪の赦しの恵み

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。

マタイ 9・2

目標

あらゆる祝福に先だって、罪の赦しの恵みを受け取る。

8月27日（日）

聖書
聖句

マタイ 9・1～8

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。 2節

中風という病気を知っていますか？ 手や足が痛くてふるえる病気です。友だちはその中風で苦しんでいる人を床の上に寝かせたままでイエス様のもとに運んできました。イエス様はその友人たちの信仰を見て、中風のひとにむかって言われました、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。」と！ えっ!? 罪がゆるされたですって!? と、本人もみんなも思ったでしょう。病気より罪がゆるされる方が大事なのです。

いの
祈り

天のお父様、病気になった時、もしかしてあなたにそむくような罪を犯していないか考えてみることにします。

8月28日（月）

聖書
聖句

マタイ 9・1～8

人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために。 6節

「そんな一!? 罪をゆるせるのは神しかないはずだ、この人は神を汚している」と、律法学者たちは心の中でぶつぶつ言ったのです。それをイエス様はちゃんと見抜いておられました。そして今度は、中風のひとに、「起きて寝床を担ぎ、家に帰りなさい」と言われました。するとどうでしょう！ 彼は起きあがって家に帰って行ったのです。病気をいやす力も罪をゆるす力もみんなイエス様は持っておられるお方です。

いの
祈り

天のお父様、病気がなおることよりも、罪がゆるされて、滅びから救われるということが大切だとわかります。

8月29日（火）

聖書
聖句

イザヤ 43・22～28

わたし、このわたしは、わたし自身のためにあなたの背きの罪をぬぐい去り／もうあなたの罪を思い出さない。 25節

神様は、どんなにかわたしたちの罪や背きの罪をゆるしたい、きよめたいと願っていらっしゃるかが旧約聖書の中にもいくつも記されています。ご自分の愛する民イスラエルのために、いえ、それは神様自身のためだと言われます。「背きの罪をぬぐい去る」黒板消しで、サーッとぬぐうと、何が書かれていたのかわからなくなります。そのように私の背きの罪やあやまちを消し去ってくださり、罪を心にとめないと言ってくださいます。

いの
祈り

天のお父様、罪ほど心を苦しめるものはないのに、それを消し去り、心にとめないと言ってください感謝します。

8月30日（水）

聖書
聖句

イザヤ 44・21～23

わたしは、あなたの背きを雲のように、あなたの罪をかすみのように消し去った。 22節

青い空に浮かぶ白い雲、時には灰色の雲や、黒っぽい雲。ずっとそこにいるように見えるのもあれば、急ぎ足で飛んでいってしまうものもあります。そんな雲のように、神様が私の背きの罪を吹き払って、どこに行ったのか見えなくしてくださる！ かすみはめったに見えないかもしれませんが、もや一つとかかるかすみがサーッと晴れてなくなってしまうように、私の罪もサーッとかき消してどこに行ったかわからなくしてくださいます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが私の背きの罪を雲のように吹き払い、罪をかすみのように消して晴れやかな心にしてくださり感謝です。

8月31日（木）

聖書
聖句

エレミヤ 31・31～34

わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。 34節

犯してしまった罪を忘れさせないで何度も思い出させては、私たちを苦しめるのは悪魔です。「あれ、やっただろう！」って、訴えてくるのです。でも神様はちがいます。「わたしはゆるしますよ、そして、もうその罪については思わないことにしています」って！ 神様が、心にとめなかったり、忘れたり、思わないなんてできるのでしょいか？ できるのです。神様がご自分でそうおっしゃっておられるのですから！

いのちの祈り 天のお父様、罪を罰することのできるたったひとりのあなたがゆるしてくださり、忘れてくださるとは恵みです。

9月1日（金）

聖書
聖句

I ヨハネ 1・5～7

御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。7節

わたしたちのどうしようもない罪がゆるされるたった一つのわけがここにあります。罪を犯す人は必ず死ななければならないのです。昔は羊や山羊の上に自分の罪をかぶせて、その動物を殺して血を流しました。今、私たちのためにイエス様が十字架で死に、血を流してくださいました。一つの罪も犯されなかったイエス様の清い血が流されて、私の身代わりと信じるなら、すべての罪からきよめられるのです。

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうに「すべての罪」から私をきよめてくださるイエス様の血の力を覚え、光の中を歩みます。

9月2日（土）

聖書
聖句

I ヨハネ 1・8～10

もし私たちが自分の罪を告白するのなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。9節

ですから！ 何よりもまず一番に、私たちは罪をゆるしていただくことを求めています。病気がなおっても、罪がゆるされていないなら、それはついには永遠の滅びにいたる病気なのです。どうしますか？ 「自分の罪を告白する」のです。「言いあらわして、お祈りする」のです。キャンプでした人もありますか。牧師先生にお話して罪を告白して、ゆるしきよめてもらいましょう。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架を私の罪の刑罰の身代わりと信じ、罪を告白しますので、ゆるしきよめてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 14・13～21

5つのパンと2匹の魚

そして余ったパン切れを集めると、十二のかごがいっぱいになった。

マタイ 14・20

所有する物、また自分自身を、神に献げる。

目標

9月3日（日）

聖書
聖句

マタイ 14・13～21

そして余ったパン切れを集めると、十二のかごがいっぱいになった。 20節

そこには、イエス様のお話が聞きたくてやってきていた大勢の人がいました。男の人だけでも五千人！ 女の人や子どもたちを入れると一万人はゆうに超えていました。食べ物と言えば、パン五つと魚二ひき。えー?! それじゃどうにもならないでしょ。ところがです。イエス様にお献げしたら、イエス様の感謝のお祈りで、パンと魚は弟子たちの手で配られ、な、なんと！ 食べこぼしたパンくずが十二のかごいっぱい！

いの祈り

天のお父様、どんな小さなわずかなものもイエス様の御手にさし出すと、すばらしく奇跡的に用いられ感謝です。

9月4日（月）

聖書
聖句

マタイ 14・13～14

それを聞くと、イエスは舟でそこを去り、自分だけで寂しいところに行かれた。 13節

「それを」というのは、バプテスマのヨハネさんが獄の中で首を切られて死んだということでした。イエス様はとても悲しまれ、ひとり静かに神様にお祈りに行かれたのですね。私たちも心が痛くなる時には神様のところに行って静まりましょう。しかし、人々はイエス様のところあるあとを追いかけてきました！ それほどにもイエス様のお話が聞きたかったのです。さあ、私たちは？ 教会学校でしっかり聞こうね。

いの祈り

天のお父様、イエス様のあとを追いかけてまでお話を聞きにきた人々のように、私もしっかり聞きたいです。

9月5日（火）

聖書
聖句

マタイ 14・15～17

ここには五つのパンと二匹の魚しかありません。 17節

夕方になり、人々の心と魂は、イエス様のお話で満たされましたが、お腹がすいてきました！ 弟子たちが「もう解散させて、それぞれ食べ物を買に行かせましょう」と言うと、「いや、あなたがたの手で食物をやりなさい」と言われます。弟子たちは、「エーッ！ イエス様、ここにはパン五つと魚二ひきしかありません」と言います。実はそれは、小さな少年の、その日のお弁当でした（ヨハネ 6・9）。どうなる!?

いの祈り

天のお父様、その時の弟子たちや少年のように、私も小さい物しか持っていないでもお献げしていきます。

9月6日（水）



マタイ 14・18～19

するとイエスは「それを、ここに持つて来なさい」と言われた。 18節

イエス様が、「それをここに持って来なさい」と言われます。あなただったらどうする？「いやだ！これはね、ボクのお弁当なんだから、ダメ！」って言う？この子どもも弟子たちも、「ハイ」と素直にイエス様にさし出したのです。「草の上にすわりなさい」と人々に言い、パンと魚を手のひらにのせ、天を仰いで祝福し、パンをさいて弟子たちに渡すと、弟子たちはそれを人々に与えました。どんどんどんどんとね！

いの祈り

天のお父様、何という心 暖まるイエス様の愛のみわざでしょう！イエス様の手にのると祝福され用いられるのですね。

9月7日（木）



マタイ 14・19～21

人々はみな、食べて満腹した。20節

「人々はみな」って、何人いましたっけ？男の人だけでも五千人です。女の人や子どもを入れると一万人を超えた人たちです。そんな大群衆でしたよ。そのみんなの者が「食べて満腹した」のでした!! たったの五つのパンと、たったの二ひきの魚ですよ！信じられな一い！と思うようなすごい奇跡のみわざでした。そういうわけでこの人々は、イエス様のお話で心も満足、イエス様の奇跡でお腹もいっぱいになりました。

いの祈り

天のお父様、イエス様と共にいることは素晴らしいことです。心もお腹も満たされます。ずっと一緒にいます。

9月8日（金）



マタイ 14・20～21

食べた者は、女と子どもを除いて男五千人ほどであった。 21節

考えれば考えるほど、なんてスゴイ奇跡だと思いませんか！きつと、一番オドロイテ、カンゲキの頂点にいたのは、そのお弁当をイエス様におささげた少年だったにちがいありませんね！何しろ、そんな大勢の人々に、あの恥ずかしいような大麦のパン五つと小さな魚二ひきとが届けられて、名前も顔も全然知らないような人たちがみんな『満足』するほど食べたのですから。小さい私も小さい物もお献げしたいね！

いの祈り

天のお父様、イエス様の手にお献げする時、その祝福は知らない人々にさえ届くなんて、本当に嬉しいです。

9月9日（土）



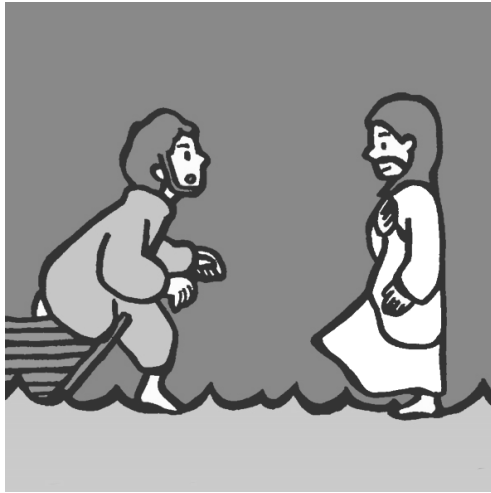
マタイ 14・20～21

そして余ったパン切れを集めると、十二のかごがいっぱいになった。 20節

朝、パンを食べている人！今頃はだんだんご飯よりパンを食べる人が増えているのかな？パンくずとありますがパン切れともあります。配り残し分もきつとまだあったのでしょうか。それらの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになりました。へえ、こんな小さなパンくず、パン切れが…？実は十二人のお弟子さんが一かごずつ持ったとして、明日の食べ物までイエス様が用意してくださったというわけです！

いの祈り

天のお父様、イエス様の奇跡はほんとに「至れり、尽くせり」です。心から喜んで私も持物も皆お献げします。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 14・22～33

嵐を鎮めたイエス

しっかりしなさい。わたしだ。恐
れることはない。マタイ 14・27
人生の逆風の中でもキリストを
見上げ、信仰を持って前進する。

目標

9月10日(日)

聖書
聖句

マタイ 14・22～33

しっかりしなさい。わたしだ。恐
れることはない。 27節

自転車に乗れますか？ 追い風だと、後から
風が背中を押してくれて、スイスイとよく走
るけど、逆風だと大変ですね。全然進まな
いばかりか、もうよろけて転げそうになりま
す。この弟子たちは湖の上の舟が乗り物で
した。逆風でこぎ悩んでいる時、なんと湖
の上を歩いて来られるイエス様を見たの
です。「ギャー、幽霊だあ！」って叫ぶ
弟子たちは、「わたしだ、恐れることは
ない」とのイエス様のお言葉に安心しま
した。

祈り

天のお父様、困った時、つらい時、苦し
い時、「わたしだ！」と言ってください共
にいてくださるイエス様を見上げます。

9月11日(月)

聖書
聖句

マタイ 14・22～23

イエスは祈るために一人で山に登ら
れた。夕方になっても一人でそこに
おられた。 23節

一人ひとりの人を「さようなら」と言って、
お家に帰らせるのって、大変だったでしょうね。
それをイエス様がされたのです。しかもその
間に、弟子たちを舟に乗り込ませて、向こう岸
へ先に行くようにさせました。イエス様は、ど
うされたでしょう？ お祈りのために山に登ら
れ、夕方になってもまだそこにひとりおられて、
父なる神様にお祈りをされました。実はイエス
様の愛の奇跡の力は、父なる神様から来てい
るのです。

祈り

天のお父様、イエス様はあなたとのお交わ
りを愛されただけでなく、必要とされてい
たことがわかりました。

9月12日(火)

聖書
聖句

マタイ 14・24～25

夜明けが近づいたころ、イエスは湖
の上を歩いて弟子たちのところに来
られた。 25節

弟子たちの舟は…？ 逆風と波に悩まされて、
木の葉のように揺れています。イエス様は、山
の上からちゃんとその様子を見ていてくださ
いました。そして、夜明けの四時頃、一番暗い
時に、湖の上を歩いて、弟子たちの乗っている
舟の方に行かれました。私たちが困っているの
も、苦しんでいるのも、悩んでいるのもちゃん
とご存知で、湖の波のような困難、悩みを踏
みつけて近づいてくださるのがイエス様です。

祈り

天のお父様、誰にも知られなくてもイエ
ス様はちゃんと私の悩みを知って近づ
いてくださり、感謝します。

9月13日（水）



マタイ 14・26

イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。 26節

逆風はビュービュー吹きつけるし、波はドドーッ、バシャーンって舟の中にも入ってきます。それだけで、さすがの漁師だった弟子たちも、青い顔だったでしょう。おまけに、湖の上を歩いて近づいてくる影が見えた時、もう彼らの恐れは頂点にきちゃって、叫び声をあげてしまいました、「ギャー、幽霊だ！」って。大の男たちだって、これほど恐い思いをしたことはなかったかも。その影はイエス様なのにな。

いのり 天のお父様、恐ろしい思いをする時、そこにいてくださるイエス様をしっかりと見ることができるよう助けてください。

9月14日（木）



マタイ 14・27

しっかりしなさい。わたした。恐れることはない。 27節

さすがにイエス様です。弟子たちの叫び声を聞くやいなや、「すぐに」彼らに声をかけて言われました、「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない」と。何て力強い、頼りになるイエス様のお言葉でしょう！ 私たちにも、イエス様はいつでも、どんな時でも、こういうふうに声をかけていてくださるのです。「あつ、イエス様だ」とわかった、もう恐れなくてもいいのです。しっかり立つことができますね。

いのり 天のお父様、これ以上、心が励まされ、安心と力が与えられるみ言葉はありません。共にいてくださるイエス様を感謝します。

9月15日（金）



マタイ 14・28～29

そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。 29節

「なあ～んだ、イエス様、あなたでしたか」と、弟子たちはどんなにか心がホッと、嬉しくなったにちがいありません。ペテロがどうしたかを見ればよくわかります。「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言うと、「来なさい」とのイエス様のお言葉！ そこでなんとペテロは水の上を歩いてイエス様のところへ行ったのでした。ホントウニ！

いのり 天のお父様、イエス様と同じように水の上を歩いてイエス様のみもとに行つたペテロの大胆と勇氣はスゴイです。

9月16日（土）



マタイ 14・30～33

そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。 32節

ところが、です。次の瞬間、ペテロはイエス様から目を離して、風を見てしまいました。するとそのとたんに、恐ろしくなつてしまい、しかもブクブクおぼれかけたのでした。ペテロは叫びました、「主よ、助けてください」と。ここでもイエス様は「すぐに」手を伸ばし、ペテロをつかまえて言われました、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」。ふたりが舟に乗り込んでいくと風はやんでしまいました。さすがですね。

いのり 天のお父様、イエス様を私の心にお迎えしてさえすれば、どんなつらい時、苦しい時も平安でいられます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 2・1～10

モーセの誕生

信仰によって、モーセは生まれてから三か月の間、両親に隠されていました。

ヘブル 11・23

目標

危機の中で、信仰によって神の助けを求める。

9月17日（日）

聖書
聖句

出エジプト 2・1

さて、レビの家のある人がレビ人の娘を妻に迎えた。 1節

今週は、イスラエルのリーダー、モーセが生まれたときのお話。そのころ、イスラエル人はエジプトに住んでいて、エジプトでたくさん赤ちゃんが生まれてふえました。エジプトの王様は、イスラエル人がふえないように、なんと「生まれた男の子はナイル川になげこめ！」と命令したのです（1章22節もよんでね）！

そんな中、イスラエルのレビ族のひとりが、結婚しました。結婚して、もし男の子が生まれたら、ナイル川になげこまないといけない。でも、この夫婦は王様の命令をおそれないで、神様を信頼して結婚したのでした。

いの祈り

天のお父様、わたしが人の言葉をおそれないで、あなたを信頼することができるように助けてください。

9月18日（月）

聖書
聖句

出エジプト 2・2

彼女は身ごもって男の子を産み、その子がかわいいのを見て、三か月間その子を隠しておいた。 2節

結婚した夫婦に、男の子が生まれました。なんというかわい子！ きっと、この子には神様のとくべつな計画があるかもしれない…と、両親がかんがえるほどでした。王様からは、男の子はナイル川になげこめ！と言われていたけど、そんな命令はまちがっています。両親はこのかわいい男の赤ちゃんを三か月のあいだ、ひっそりで隠したのでした。

赤ちゃんを殺すような悪い命令には従わないで、正しい神様のみこころに従う両親だったのです。

いの祈り

天のお父様、わたしも正しいあなたのみこころに従うことができるように、助けてください。

9月19日（火）

聖書
聖句

出エジプト 2・3

しかし、それ以上隠しきれなくなり、…その子を中心に、ナイル川の岸の葦の茂みの中に置いた。 3節

赤ちゃんが生まれて三か月。赤ちゃんの泣き声が大きくなって、もう隠せそうにありません。お母さんは、パピルスという植物でかごを編んで、お水が入らないようにアスファルトと樹脂をぬって。その中に赤ちゃんをいれて、ナイル川の草がはえているところに置いたのでした。

これいじょうは、赤ちゃんに何もしてあげられません。でも、両親は、赤ちゃんを神様にお任せすることにしました。ほんとうに困ったときは、神様にお任せするのがいちばんです。

いの祈り

天のお父様、困ったときは、ぜんぶあなたにお任せして、あなたに助けていただこうと思います。

9月20日（水）

聖書
聖句

出エジプト2・4～6

彼女はその子をかほいそうに思ひ、
言った。「これはへブル人の子どもで
す。」 6節

赤ちゃんのお姉さんが、赤ちゃんがどうなる
か見ていました。すると、エジプトの王女がナ
イル川で水あびをしようとおひてきました！
あれ、あのかごは何かしら。王女がかごを開け
させると、なんと、かほい男の赤ちゃんが泣
いているではありませんか。王女は赤ちゃんが
へブル人（イスラエル人）とわかりましたが、か
ほいそうに思ひて、赤ちゃんを助けたのです。

神様は王女にあわれみの心をあたえてくだ
さいました。神様にお任せすると、神様はいち
ばんの方法で助けてくださるのです。

いの 祈り 天のお父様、あなたにお任せして、あなた
がいちばんの方法で助けてくださることを
体験させてください。

9月21日（木）

聖書
聖句

出エジプト2・7～9

あなた様にへブル人の中から乳母を
一人呼んで参りましょうか。 7節

王女が赤ちゃんをかほいそうに思ひてくれ
ている！ それを見ていた赤ちゃんのお姉さ
んは、すかさず「この子にお乳をのませる人を
呼んで参りましょうか？」と言ひました。王女が
「行ってきて！」とお願ひしたので、お姉さ
んは赤ちゃんのお母さんをおひんできたのです。
お母さんは、王女におねがいされて赤ちゃん
を育てることになったのです！

神様がお姉さんにすばらしい知恵と勇氣を
くださったことがわかります。神様にお任せ
すると、神様は知恵と勇氣をあたえて助けて
くださるのですね。

いの 祈り 天のお父様、あなたが、問題をかいけつす
る知恵と勇氣をくださることを信じま
す！

9月22日（金）

聖書
聖句

出エジプト2・10

王女はその子をもーせと名づけた。
彼女は「水の中から、私がこの子をおひ
き出したから」と言ひた。 10節

本当のお母さんに育てられた赤ちゃん。イス
ラエル人として、しっかり神様のことをお母さ
んに教えてもらひながら育ちました。そして、大
きくなつて、王女のところにつれていかれ、王女
の子として王宮でくらすことになったのです。
王女は、その子にモーセ（引きだすの意味）と名
づけました。

ナイル川に投げこまれるのではなく、王女の
子として安全にくらすことになったモーセ。
モーセは、神様のすばらしい助けの連続で生ま
れ育ったのです。きっと、あなたも同じですよ。

いの 祈り 天のお父様、あなたの助けの連続でわたし
を育ててくださって、ありがとうございます
す！

9月23日（土）

聖書
聖句

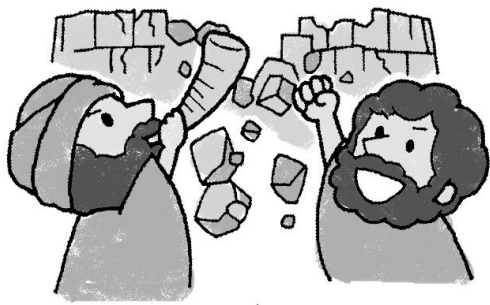
へブル11・23

信仰によって、モーセは生まれてから
三か月の間、両親によって隠されて
いました。 23節

モーセは、このあとイスラエルをエジプトか
ら脱出させるリーダーになります。生まれた時
は、とてもたいへんな状況だったけど、両親
は神様だけを信じてお任せしました。それで
モーセは神様に助けられ、のりこえて、りっば
なリーダーに成長していったのです。

あなたにも、これから「どうしよう！」って
いう問題がおこると思います。そんなときは
何よりも神様に助けをもとめて、任せてくださ
い。神様のすばらしい解決、計画がまっている
はずですよ！

いの 祈り 天のお父様、何よりもあなたに助けをもとめ
て、お任せしていきます。あなたのすばらし
い計画を見させてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 6・1～20b
ヨシュアとエリコの町
そうすれば町の城壁は崩れ落ちる。民はそれぞれ、まっすぐに攻め上れ。ヨシュア 6・5

目標

人間的な方法でなく、神の方法によって勝利を得る。

9月24日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 6・5
そうすれば町の城壁は崩れ落ちる。民はそれぞれ、まっすぐに攻め上れ。5節

イスラエルの人たちが、大きくて頑丈なエリコの町の壁を崩すためにしたことはなんでしょう？ ただ、神様の言うとおりに、壁の周りを毎日回っただけでした！

わたしたちは、問題が起きると、なんとか自分で解決しなきゃ！と考えてしまいます。目に見えるものだけを信じようとします。

でも、もし、あなたが神様を信じるなら、まずは神様がどう言っているかを知り、神様に従うことが大切なのです！それが一番の勝利の近道なんです！

いの祈り

天のお父様、一番の勝利の近道であるあなたに聞いて 従います。

9月25日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 6・2
見よ、わたしはエリコとその王、勇士たちをあなたの手に渡した。2節

イスラエルの人たちがどうやってもたおせないと思う敵の町。だけど神様は「あなたたちはもう勝っているよ！」と言われました。

戦ってもいないのに？ そうです！

神様は、神様を信じる人にはどんな問題や悪魔にも勝てる力をくださるお方です。そして、あなたの先頭に立って悪魔と戦ってくださるお方だから！

なんでもできる神様が「もう勝ったよ！」と約束してくれるなら、どんなことにも勇気をもって立ち向かえるよね！

いの祈り

天のお父様、どんなことにも勝てるあなたの力を信じます。

9月26日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 6・2
見よ、わたしはエリコとその王、勇士たちをあなたの手に渡した。2節

昨日のお話の続き！あなたは、ごはんを食べる前、学校に行く前、勉強する前、お友だちとあそぶ前、何かたいせつなことをする前に、お祈りしますか？

ヨシュアは、エリコの町をたおしに行く前、神様のお言葉をしづかに聞きましたよ。そして、心に安心をもらって、今からどうすればよいか、一つ一つ教えてもらったのでした。

聖書の中、お祈りの中から神様の声を聞こうとするなら、神様は必ずあなたに応え、安心と知恵と力をくださることをわすれないでね！

いの祈り

天のお父様、何よりもまず、お祈りしてあなたのおことばを聞けますように。

9月27日（水）



ヨシュア 6・3～5

むいかん 六日間そのようにせよ。

3節

「神様にお祈りしたのにすぐに答えてくれない！ もうお祈りなんてやめた！」なんて言っている人はいませんか？

神様は、本当に信じて待っているか、そのお祈りが心からのものか、あなたを見ておられますよ。イスラエルの人たちも、神様に「待つこと」、「神様を信じて従うこと」を教えてもらったんだ。

神様が用意してくださるふしぎなご計画と時を信じて待てる、そんなあなたでいてくださいね！ 神様はいちばん良いときにいちばん良いこたえをくださるからね！

いの

祈り 天のお父様、あなたの「時」があることを信じて待ちます。

9月28日（木）



ヨシュア 6・11～14

こうして【主】の箱は町の周りを回り、その周囲を一周した。 11節

神様を信じている人たちがすることを、信じていない人を見ると、どんな風に見えるでしょう？ 賛美したり、お祈りしたり、聖書を読んだり、何の意味があるの？ って思われることがたくさん！ でもね、神様を知っている人たちには、どんな風に思われても、それはとっても意味のあることなのです！ そして、神様を信じている人たちのすることは、信じていない人たちや悪魔を「あっ」と言わせるふしぎな力を生むのです！

そう、あなたのする全てのことに意味を持たせてくださる、それが神様のすばらしさだよ！

いの

祈り 天のお父様、神様を信じて行うすべてのことがまわりの人や悪魔に「あっ」と言わせる力になりますように！

9月29日（金）



ヨシュア 6・17～18

あなたがたは聖絶の物には手を出すな。 18節

あなたは、神様が喜ばれないこと、おきらいになることが何かわかりますか？ 神様を信じているのに、神様が喜ばれないことをしていませんか？

エリコの町は、本当の神様に従わない、偶像のたくさんいる町でした。沢山の罪があるこの町を滅ぼすと神様がお決めになったので、その町にあるものは一つも自分のものにしてはいけません、と聖書は言っています。

あなたも、神様に従うなら、神様が喜ばないこと、罪だとわかっていることをしてはいけません！ あなたもエリコのように滅びないために！ という教えです。

いの

祈り 天のお父様、あなたが喜ばないことや罪だと思ふことから離れて生きます。

9月30日（土）



ヨシュア 6・19～20

角笛の音を聞いて民が大声でときをあげると、城壁は崩れ落ちた。 20節

武器もあまりなく、戦うための訓練もそんなにしていなかったイスラエルがどうしてエリコに勝てたの？ それは、ただ神様が一緒にいて力をくれたから！ 神様からはなれたらイスラエルは勝てなかったの。神様すごい！

あなたも同じ！ あんまり自信がなくて、強くなくても、ただ神様が一緒にいてくださり、あなたが神様の言葉に従っているなら、どこで何をしても恐れずに進んでいけるよ！

そして、神様に守られて、悪魔にも勝てる神様の子どもでいられるんだよ！

いの

祈り 天のお父様、私を守り、助け、勝たせてくださるあなたに感謝して毎日を過ごします。